

# ある町の 天気相談所

Vol.64 2023.4.7



令和5年4月号

## 2023年のさくら

日立におけるソメイヨシノは、開花は過去2番目に早く、満開は2021年と並び最も早くなりました。

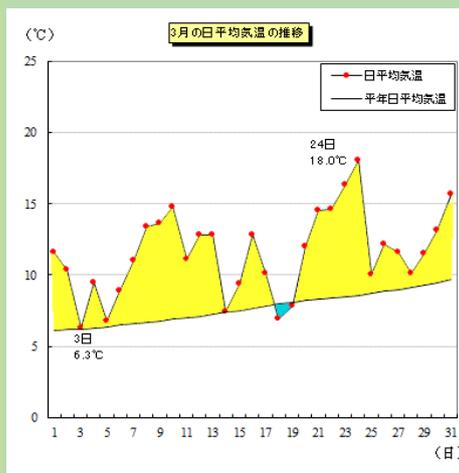
開花 かみね公園・平和通りとも  
3月21日 昨年より12日早い  
満開 かみね公園・平和通りとも  
3月28日 昨年より11日早い



写真は平和通り 3月30日

## 3月の気候

3月は、低気圧と高気圧が交互に進みましたが、全体的に暖かい空気に覆われていたが、気圧配置の関係もあり、上旬と下旬は過去最も高い気温を記録しました。月平均気温は11.4℃となり、3月としては過去最も高くなりました。月の前半は降水量は少なく、日照時間は多くなりましたが、中旬以降は雨の日も多くなり、月合計降水量は107.5ミリと昨年より多く、月合計日照時間は185.1時間とほぼ昨年並みとなりました。



## 一ヶ月予報 (気象庁発表)

4月は天気が数日の周期で変わりますが、前半は平年に比べ、晴れの日が多く、中頃は晴れの日が少ない見込みです。平均気温は「高い」降水量は「ほぼ平年並み」日照時間は「ほぼ平年並み」の予想です。



## 今年の開花予想の精度

今年も3回の開花予想を行いました。2月17日発表の第1回の予想は、昨年より高い気温ですが、実況ほど高くはならないと予想し、3月26日開花でした。3月3日発表の第2回の予想は、気温は高い状態が続きますが、開花直前に寒が入ると予想し、3月24日と第1回よりも2日早くなりました。結果と比較すると1回目は5日、2回目は3日ずれています。3回目は3月17日発表と、開花直前であり、実際のつぼみの様子や気温や天気の変化を考慮できたため、開花日と同日の予想を発表できました。3回目に開花予想の際は、気温があまりにも高かったため、予想に使っている計算式では対応できませんでした。



写真はかみね公園 3月29日



## 天気用語の基礎知識

### 高潮注意報

台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生すると予想される場合、高潮注意報が発表される。日立市における基準は注意報は標高1.0m、警報は標高1.5mとなっている。潮位は1日の中でも満潮と干潮を繰り返すため、高潮注意報がでていても干潮の時は影響は少なく、満潮時に注意が必要となる。なお、日立市内には検潮所がないため、実況はわからない。波浪特別警報と同様に高潮特別警報も潮位の高さが基準ではなく、数十年に一度の強度の台風などの場合に発表される。

### ・・・神峰の山から・・・

さくらの開花が早いと、満開までの期間が長くなるか、満開になってから散るまでの期間が長くなるかどちらかの傾向がありました。今年は満開までの期間は昨年同様でしたが、散るまでの期間は少し長くなりました。これは、開花後に寒が入ることがあるためですが、今後寒気が入らなくなるようなことが起こると、開花から散るまでの期間が短くなってしまいかもかもしれません。実際にある一本のさくらは散るのが他の木と比べてとても早くなっていました。

早くても遅くても、毎日さくらを見に行く期間は約一月であり変わりませんね。